

R I 第 2820 地区

THE WEEKLY REPORT



水海道ロータリークラブ

本年度クラブテーマ

ENJOY ROTARY

SERVICE Above Self

2005-06 年度 国際ロータリー会長
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー



例会予定

5月17日
外部卓話
5月24日
振替休会

5月31日
外部卓話
6月7日
新旧ガバナー補佐挨拶

VOL. 43 No.37 (通算No.2077)

2006年5月10日(水)例会プログラム

点鐘
君が代・ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
SAA報告
諸報告
幹事報告
会長挨拶
外部卓話
遠藤常総市長



2005～2006年度

会長 青木 清人

幹事 熊谷 昇

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

事務所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

常陽銀行水海道支店内 3F

釜久ビル 3F

毎週 水曜日 12:30～13:30 0297-22-1251

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://kinuyou.com/rc/>

本例会でのおもな事項

* 会長挨拶

* 地区協議会報告

各委員会委員長

諸 報 告

社会奉仕委員会 (染谷秀雄委員長)

グランドゴルフ谷和原大会のお知らせ

日時 5月21日(日) 8:00(現地集合)

場所 絹の台 桜公園

国際奉仕委員会 (北村陽太郎委員長)

ツウンバ交換学生の募集を致します。委員会までご応募下さい。

幹 事 報 告 (熊谷 昇幹事)

週 報 受 理 水戸RC、水戸東RC、水戸西RC、つくばシティRC

例会変更通知受理 龍ヶ崎中央RC 5月26日(月) 午後6時30分より 松泉閣

例会場移転のお知らせ 水戸西ロータリークラブ 6月第1例会より(6月7日(水))

新例会場 京成百貨店 9階 バンケットルーム

〒310-0026 水戸市泉町1-6-1 電話 231-1111 FAX 221-5742

会 長 挨 拶 (青木清人会長)



皆様、こんにちは。

「目に青葉 山ホトギス 初鯉」本当に気持ちの良い季節になりました。今夜はGSEのトルコの2人の女性を囲み、鯉のタタキで一杯やりましょう。

今週はGSEの第8分区分が担当で、水海道には2人のトルコの女性が瀬戸会員宅にホームステイしております。瀬戸会員の奥様にも御礼申し上げます。また朝夕の送迎を担当されている皆様にも御礼申し上げます。熊谷幹事にいたっては、23日より29日まで1週間フル稼働の状態です。頭が下がります。

水海道にステイされている2人は、トルコの西エーゲ海に面したイズミルの出身です。1人はトルコ政府の海運出荷機関に、もう1人は自然食品の会社で働いておられます。非常に勉強熱心で、昨日は橋本会員のアクティブリンクさんを訪問させて頂いたそうです。また昨夜は、2人にトルコ料理を作っていただき、ご馳走になりました。大変ヘルシーなものでした。

トルコは、20世紀の初めまでオスマン帝国(1299~1922)として栄えた国です。イラクもオスマン帝国の一部でした。リーダーの方も石油資源の豊富なイラクが分離された事を、残念がられていました。

トルコに興味のある方は、是非今夜のパーティーに集まってください。

地区協議会報告

会長部門 (松村仁寿次年度会長)



2006 - 2007年度強調事項・・・「識字率向上」「水保全」「保健および飢餓」「ロータリー家族」

地区目標・・・ 1クラブ1名の純増 強調事項に関連する事項での、1クラブ1プロジェクトの実施 2820地区、全クラブがRI会長賞申請の権利を取得 財団寄付一人当たり130ドル以上 1クラブ1人のベネファクター 米山奨学会寄付一人当たり2万円以上

幹事部門（青木正弘次年度幹事）



月間の変更 7月の識字率向上 3月に変更
予算について
地区送金・RI送金
公式訪問日 10月18日(水)

会員組織委員会（大串 卓次年度委員長）



カウンセラーに吉岡PG、リーダーに和田総括委員長、サブリーダーに倉沢委員。あいさつの殆どが会員増強、退会防止の話であった。会員増強は本年度と同じ純増1名。萩原年度は2月現在2,412名で純増68名、女性会員は100名目標であったが現在67名。世界のロータリー会員は約120万人であるが、米国で3万人減少、日本で2.5万人減少しているようだが、ヨーロッパ、韓国、インドなどでは増加して総数は余り変わっていない。女性会員は、15万人(12%)、女性ガバナーも65名ほどいる。

日本でも一時期10万人を切ったことがあるが、現在は超えてはいるが6月末の退会が多いので、本年度末では10万人を切るかもしれない。2820地区でも10年間で500名減少している。

退会理由として

- 病気・死亡……22%
- 多忙……11%
- 事業不振・転勤……41%
- 転職・会社方針……5%
- 一身上の都合……21%

退会防止には、一身上の都合の説得、事業不振の回復後の再入会など、考えて退会防止に当たって欲しい。増強でも、量か質の問題があるが、クラブの力・活力を出すためにはある程度のマンパワーも必要。CLPについては、まだ各クラブバラバラであり、地区の方でもまだ組織がそれに対応していないが、除々に各クラブ・地区が整合していくであろう。

クラブ管理運営委員会（島田 勝次年度委員長）



花曇の4月16日(日)水戸市民会館に於いて地区協議会が開催されました。9時30分登録開始、10時萩原ガバナーの点鐘で開会されました。セレモニーの後、佐藤ガバナーエレクトの次年度方針が発表され、続いて永井パストガバナーによるプログラムの概要について、次に片岡PGによるロータリー財団について、そして清水PGより公共イメージのアップについて、最後に坪田次期クラブ管理運営総括委員長からクラブ運営とCLPについてそれぞれ約15分の説明がありました。

午前中の全体会に引き続き会場を移動し、午後1時30分より分科会が開かれ、私は第4グループの今回クラブ奉仕2より名称が変更されたクラブ管理運営委員会に出席しました。また、地区広報委員会も同グループで行われました。

先ず、グループのプログラムに沿って司会者より坪田総括委員長が紹介され、挨拶後クラブ奉仕についての説明があり、委員会は旧クラブ奉仕2を継承していくとの話で始まり、クラブ奉仕は親睦活動を充実さ

せ、クラブを効果的に機能させることを主眼としている。そして、職業奉仕はロータリアンがそれぞれの職業を通して他の人々に奉仕し、高い道徳的水準を奨励します、と述べられクラブの運営は親睦と奉仕により成り立っており、親睦は『クラブ内活動』であり『例会内活動』、奉仕は『クラブ外活動』で『例会外活動』であるとの説明がありました。

引き続き、池田地区広報委員長より広報の重要性について

広報における個々のロータリアンの責務

広報におけるロータリークラブの責務について

現在茨城新聞に掲載されているロータリー情報について、昨年の7月から今年の4月までで情報の提供が多いクラブは、1位が水海道RC、2位は守谷RCとの事でした。

続いて、城出クラブ管理運営委員長より、クラブ管理運営とはクラブ自身がクラブ組織を管理し運営する事を指しており、地区がクラブを管理しようとする事ではなく、地区はクラブを支援する事が仕事ですと述べられ7つの点についての説明がありました。

1. 旧クラブ奉仕2を継承する
2. クラブ奉仕の重要性について……クラブ奉仕活動を通じて親睦の重要性を理解して欲しい。そしてクラブ奉仕の業務は全てロータリーの基本として欠かせない活動である。
3. 例会出席の規定について再確認を
4. 親睦と会員相互の信頼について……親睦はロータリー活動の場面で重要な要素になり、親睦という呼び方で相互信頼によって成り立っている。
5. プログラムの重要性と例会……例会の根幹としてプログラムの立案にアイデアと斬新な取り組みを希望します。また、月間・週間行事をプログラムとして取り上げ、ロータリー理解の手法として活用する事。
6. 会報の重要性と例会……会報の意味を再確認
7. ロータリーのインフォメーション……RI、ロータリーの友等色々の情報をどのように役立てるか。そして情報の整理と整頓も必要である。また、情報の管理と同時に情報を分析する事も重要。

次に神原地区HP運営委員長より6項目についての説明がありました。

1. これまでのDICO業務が変更になり、今年からは地区からCICOに伝達されます。DICOからのルートは廃止され、ガバナー事務所より直接クラブに発信されます。
2. 2006 - 2007佐藤年度から更に進歩し、HPへアクセスして情報を取得してほしいとの事。
3. クラブ内の伝達はCICOから配信……ガバナー事務所から会長・幹事・CICOに配信されます。また、サブとしてクラブ事務所でも良い。(5月20日までに次年度のCICOとクラブ事務所のアドレスをお知らせ下さい。)
4. HP管理運営委員会の役割……地区とクラブの情報媒体として利用して欲しい。
5. HP委員会の情報源……地区、RIからの情報とクラブからの情報提供が主体です。
6. 今後の課題として……個人情報保護法、関連したプライバシー保護の確立に考慮を
ガバナー月信との情報の共有……情報媒体の違いを活用し、そして連携を
計っていきたい

既存情報の整理

後継者の育成……是非協力と参加を

クラブへの支援……IT環境の推進や各々クラブのIT環境についての相談
を受ける。

その後、全体についての質疑応答が2～3あり委員会を終了しました。

新世代奉仕委員会（古谷榮一次年度委員長）



PR効果のある手法

1. 地域社会を巻き込んだ奉仕活動の推進・・・第三者の直接参加による奉仕活動。インターアクト・ローターアクトとの連携プロジェクト
 2. 広報活動を欠かさず推進しよう・・・新聞への投稿、印刷物の地域社会への配布。看板の設置
 3. 映像・音響効果を生かそう
 4. 地域社会の行事に進んで参加しよう・・・パレードや祭りなど
- 新世代奉仕委員会の中に新しい委員会設置・・・青少年育成委員会

社会奉仕委員会（武藤康之次年度委員長）



齊藤PGの話

- ・ロータリーの成り立ち
- ・職業奉仕から社会奉仕 ライオンズの創立
- ・人間は利己的 相反して地域や社会に役立ちたい、これはロータリーしかない。



国際奉仕委員会（青木清人IPP）

- ・マッチンググラントについての説明
- ・青少年交換についての説明
- ・フィリピン歯科医療募集の話

ロータリー財団（北村陽太郎次年度副委員長）



- ・1人130ドル
- ・ベネファクター 1人
- ・もっと地区の補助金を使って活動
- ・GSE派遣募集(6670地区 米国オハイオ州)

米山奨学会（秋田政夫次年度委員長）



1. 年間20億円の予算、財源が1996年をピークに減少し、特別積立金を取り崩して不足分を補ってきたが、2005年度からは取り崩しはしない方向で、あくまで収入に見合った支援規模をすることに決定した。従って、採用人数・奨学金も減額となる。
2. 次年度の2820地区への奨学生割り当ては、地区寄付金の減額により31名から24名(継続2名を含む)となります。
3. 奨学生1人当たり年間支援金は150万円
4. 補助金については、カウンセラーへの補助金は廃止となり、そのかわりク

ラブへは年間3万円の補助金が4万円と増額

5. 2820地区内において、前年度個人寄付金、特別寄付金は6クラブがゼロという現況
6. 米山梅吉記念館は年間300万円の運営赤字が続いている
7. 次年度目標は、クラブ寄付、個人寄付合わせて1人あたり2万円の寄付金をお願いしたい。(2004年

度2820地区平均額は17,4715円)

8. 7月23日に委員会とカウンセラーの合同研修会が水戸、三の丸ホテルで開催

出席報告 (白井 豊委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜 暇	メーク
49名	35名	14名	0名	15名

出席率 100.00%

ニコニコボックス (石塚克己SAA)

昨夜は、GSEのトルコ女性メンバー手作りのヘルシーなトルコ料理をご馳走になりました。青木(清)会員
4月も終了です。5月はいろんなプログラムがあります。ご協力お願いします。熊谷会員

GSEあと2日、がんばろう。松村会員

今日もお世話になります。青木(正)・島田 各会員

誕生日の美しい花が届きました。秋田会員

例会欠席しました。大塚・五木田・松崎・草間・穂戸田 各会員

残り2ヶ月ニコニコご協力宜しくお願いします。石塚(克)会員

入金計 ¥24,000 累計 ¥1,763,000

ロータリー情報委員会より 一口メモ

Rotary World Magazine Press: THE ROTARIAN と31の地域雑誌を総称して Rotary World Magazine Press
という。各地域雑誌では、その発行地域のロータリークラブやロータリアンの活動を紹介するとともに、「The
Rotarian」から指定される記事を、その地域で使われる言葉に翻訳して掲載している。

会報委員会 委員長 横山 修 副委員長 山野井周一 委員 根本恒夫

